

日本共産党市議会議員

# 村上かずしげ



## プロフィール

1959年岩手県陸前高田市生まれ  
弘前大学人文学部卒業、日本旅行勤務を経て、民青釧根地区委員長・釧路市長候補などを歴任 200年 釧路市議に初当選  
2005年 衆院選道7区に立候補 2007年 釧路市議に2期目の当選  
現在 釧路市議 党議員団幹事長、財政経済常任委員・石炭対策特別委員・広報特別委員、日本共産党釧根地区常任委員 住所 釧路市阿寒町北新町

娘が3歳からシングルファーザー  
妻は娘が3歳のとき他界、以来、一人で子どもを育てて14年、その娘も、高校2年生になりました。仕事柄、娘にはずいぶん寂しい思いもさせてきたと思います。本当に良くがんばってくれたなと感謝しています。

初議会で市長に、「父子家庭に支援を」と質問しました。市長は「どうしろというのですか」みたいな答弁をしました。それだけ蚊帳の外に置かれた存在だったのでしょ。その父子家庭に、今年から児童扶養手当が支給されます。私は対象外ですが、少しずつでも、社会は変わってきています。

子供と二人で、苦勞しながら一緒に喜びあって生きてきて、ささやかであっても本当に大切なものをしっかり守る事が政治の一番の仕事、そんな思いを強くしています。これからもよろしくお願いします。

# いつでも弱い立場の人とともに その思いで、**市議**3期目に挑戦します

## 廃止・見直しが予定される事業の一部

ぬくもり助成金 保育料	廃止	
市民団体協働補助金 住宅用太陽光発電 身体障害者センター 療育センター 氷まつり 公園のトイレ	二人預けたら第2子のみ徴収していたのに、第1子は全額、第2子も半額徴収 総額を削減する 補助金の総額の削減 指定管理者の導入 通園バスの削減 冬のイベントの経費も含めた見直し 非水洗トイレの一部廃止、水洗トイレの冬場の閉鎖	
住宅の耐震改修 音別福祉バス 下水道料金 湿原マラソン 奨学金 北斗遺跡	対象件数の削減 運行回数の見直し 生保家庭への減免の廃止 参加料、補助金の見直し 貸付枠の見直し 開設期間の短縮	など

**ご存知ですか？**  
**財政危機を理由に市民生活をばっさり**  
公共用地や企業立地用地を買い集めた土地開発公社、振興公社が経営に行き詰まり、市は一三億円の借金をして二つの公社の肩代わりをする事になりました。この借金を16年間かけて返済するため、市は新しい「財政健全化計画」を策定中です。  
土地を買いあさりを指示した当時の市長、公社の問題を先送りしてきた与党に責任がありません。それなのに蝦名市長は、「誰が悪いと言った問題ではない」とその責任を免罪、なんの責任もない市民に、負担を押し付けようとしています。各種使用料の15%値上げ、公共施設の売却、福祉の大幅カットが並んでいます。借金は返さなくてはならないとしても、失政の責任をはっきりさせること、市民生活は絶対に守りぬくことが大切です。

みなさんと  
力あわせて

これまでの3年で

これからの4年で

みなさんと一緒に実現しました

## 実現めざしてがんばります

国保料 1万円の引き下げと基金を使い介護保険料・利用料を下げます

公共事業の生活密着型へ切り替えと住宅リフォーム助成で仕事づくりをすすめます

農林水産業に新たに就いた青年に月15万円を3年間支給させます

特養、公住の建設を進めます

市民の暮らしを守るために

高卒未就職者・失業者が働きながら介護資格が取れる事業開始  
高卒未就職者を各校3名ずつ、市の臨時職員として採用  
ぬくもり助成金が父子家庭にも支給される  
義務教育卒業までの子どもの国保証取り上げ禁止が法制化  
舌辛川の堆積土砂の撤去、河川改修の調査実施  
国保料の引き下げ (H20年度)

大企業やムダにスバリ切り込む

港湾コンテナヤードの無断使用を追及、是正へ  
厚生年金逃れの企業を入札から排除  
製紙会社の違法ばい煙問題で公害防止協定見直し  
釧路川河口橋計画、撤回へ

議会改革

政務調査の用途の厳格化と減額  
議員の海外視察・費用弁償の廃止  
当選後、全定例会で質問



普天間ヘリ訓練の矢白別移転に反対して、議会で質問しました

日本共産党  
西部後援会ニュース  
連絡先 66-1808

(部内資料)